

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
105-36	中学校	数 学	数 学	1
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
104 数研	104-73	これからの 数学1		

1. 編修の基本方針

「一人ひとりが多様な幸せ（well-being）を実現できる社会」が実現された姿として、自然科学と人文・社会科学の知を融合した理想の社会である Society 5.0 が提唱されているように、いま私たちは社会の転換期にいます。

未知の時代を生きる生徒たちにとって、習得した教科内容を活用して、自立的かつ協働的に学ぶ力や新たな価値を創造する力を、いかに身につけるかが重要です。

この教科書は、個別最適な学びと、協働的な学びの一体的な充実を図ることで、生徒たちが数学の基礎的・基本的な知識・技能を習得するだけでなく、容易に正解の出ない課題に対して果敢に挑戦し、学んだ数学を活用して考える過程や学ぶこと自体に主体的に向き合えるようになることをねらいとして編集しました。

本書の学びで、次のことを実現します。

1

確かな知識・技能の習得

- ・多様な生徒たちそれぞれに合わせた、個別最適な学びを実現します。基礎・基本が確実に定着します。
- ・活動を通して主体的・対話的に新しい学習内容を学ぶことができるように構成しています。深い理解に基づいた確かな知識や技能が身につけていきます。

2

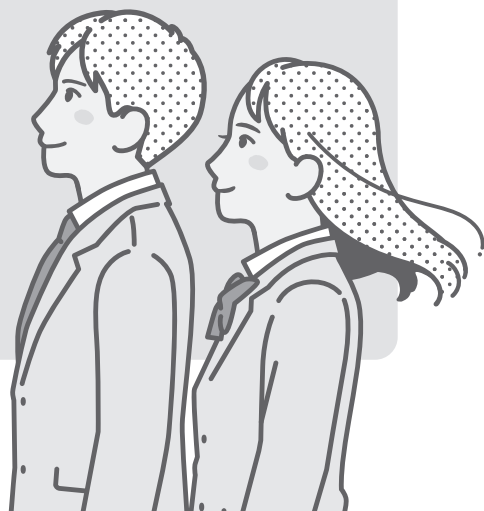
考え方、学び方の向上

- ・生徒が考えるきっかけを豊富に用意するとともに、数学的な見方・考え方を働かせる具体的な姿を紙面に盛り込み、授業の中でつねに生徒が意識できるようにしています。考える力の成長に合わせて、課題の取り組み方や学びに対する向き合い方も身につけていきます。

3

数学を学ぶことが楽しくなる

- ・数学を活用して身のまわりの問題を解決する課題や、社会とのつながりを想起させる話題を通じて、数学の有用性を感じられるように構成しています。



1

確かな知識・技能の習得

多様な生徒たちそれぞれに合わせた、個別最適な学びを実現します。基礎・基本が確実に定着します。

- 各章の学習に入る前に、その章に関連する既習内容を確認できるようにしています。
- 項目の最後に必要に応じて練習問題を配置し、基礎的な問題を繰り返し練習できるようにしています。
- 巻末の演習ページに、教科書の内容を補充できる問題を豊富に掲載しています。
- 全国学力・学習状況調査等で課題があるとされる内容は、特に丁寧に取り扱っています。

(例) 関数概念の理解に課題が見られることから、関数関係のないものについても丁寧に扱いながら話題を展開するようにしています。

- 繰り返し練習したい間には補充用の問題を表示するコンテンツを用意し、習熟度を高められるようにしています。
- 動きを伴う教材などについては、アニメーションや動画のコンテンツを用意し、学習内容が理解しやすくなるようにしています。



4

一方、貯金箱Bでは、たとえば6枚の硬貨を取り出すとき、硬貨の組み合わせは1つではないから、表に入る値はいつも同じになるとはいえない。

1	2	3	4	5	6	(枚)	1	2	3	4	5	6	(枚)
						21.8							16

貯金箱Bから取り出した硬貨の重さは、硬貨の枚数だけでは1つに決まらない。すなわち、硬貨の重さは硬貨の枚数の関数ではない。

【関数の意味の理解】(p.122-124)

5

$(+6) + (-4)$

=

【正の数、負の数の加法】(p.27)

6

回転移動

【回転移動】(p.165)

活動を通して主体的・対話的に新しい学習内容を学ぶことができるように構成しています。深い理解に基づいた確かな知識や技能が身についていきます。

- 項目冒頭に Q や TRY を配置し、数学的活動を通して新しい内容を学ぶことができるようにしています。添えられているキャラクターの対話をきっかけにして、授業の中で生徒に深い学びにつながる問いを投げかけることができるようにしています。
- 変化のきまりを調べたり、分類の基準を考えたりする活動場面には、生徒が自由に操作できるコンテンツを用意し、いろいろな角度から考えることができるようにしています。



7

TRY 1 立体をグループ分けしよう

次の①-⑧の立体を、形の特徴に注目してグループ分けしましょう。

面の形に注目したよ。

みか

上下の形に注目したよ。

まなと

8

【立体のグループ分け】(p.190)

2

考え方、学び方の向上

生徒が考えるきっかけを豊富に用意するとともに、数学的な見方・考え方を働かせる具体的な姿を紙面に盛り込み、授業の中でつねに生徒が意識できるようにしています。考える力の成長に合わせて、課題の取り組み方や学びに対する向き合い方も身につけていきます。

① 生徒、先生のキャラクターの対話は、主として**数学的な見方・考え方**を具体的な形で示す目的で設けられています。「同じように考える」「具体的な数で考える」といった考え方が題材に即した内容で示されていて、同じ数学的な見方・考え方に何度も繰り返し触れていくことで、自然とその見方・考え方が働くようになっていきます。

② 毎時間の学習のめあてを、生徒の学習にとって自然なタイミングで示し、学習の見通しをもって学ぶことができるようにしています。

 等式の性質を使って方程式を解いてみよう。

③ 各章の最後に、活用問題を取り上げています。章の中で学んだ内容について視点を変えて考えてみたり、身のまわりの問題の解決に取り組んでみたりすることで、**思考力・判断力・表現力**が培われます。

④ 巻頭に、学習の進め方やノートづくり方についてのガイドページを設けています。

⑤ 7章「データの活用」の中に、統計的な問題解決の流れをまとめたページを設けています。

⑥ 後見返しに、学び方についてのチェックシートを用意しています。自立的な学び、協働的な学びそれぞれについて、学び方に対する意識が高まるようにしています。

1

TRY 1 負の数の点のとり方を考えよう

x の変域を負の数にまでひろげて比例 $y=2x$ のグラフをかくにはどのようにするのがよいか説明しましょう。

x	...	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	...
y	...					0	2	4	6	8	...

x と y の値の組を点で表すにはどうすればいいかな。

数直線上に負の数を表したときと同じようにのぼすのかな。



【数学的な見方・考え方を示した例】(p.131)

3

学んだことを活用しよう

クリスマスパーティー用に、ほぼ円柱の形をした容器に入った大きなサイズのアイスクリューを買おうとしています。

アイスクリューは、右のようなアイスクリューディッシャーという器具で容器からすくって、コーンの上に載せます。このとき、すくったアイスクリューはほぼ球になっています。

アイスクリューディッシャーで1回すくってコーンに載せたものを1人分としますが、1回にすくことのできる量がわからないので、アイスクリューの容器1個を買ったときに何人分つくれるかが求められません。



ほかにわかることはないかな？

長さなら、測って求めることができるね。



アイスクリューの容器とアイスクリューディッシャーを測ってみると、それぞれ右の図のようになります。パーティーの参加者は30人です。アイスクリューの容器は1個で足りるでしょうか。

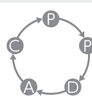


【6章「空間図形」の活用問題】(p.230)

5

意識しよう PPDAC サイクル

データを身にまわりの問題を解決する方法に、PPDAC サイクルというのがあります。PPDAC というのは、次の5つの段階のそれぞれの頭文字をとったものです。このサイクルを意識して、実際に自分たちが調べたいことを課題として設定し、調べてみましょう。



P problem **問題**を設定しよう！
データを分析することで解決できる問題を見つけてみましょう。

P plan **計画**を立てよう！
どんなデータを集めればよいか考えましょう。データを集める方法についても計画を立てておきましょう。

インターネットを利用してデータを集めるときは、次のように十分に注意しましょう。
■ 信頼できる場所の、できるだけ新しいデータを利用する。
■ 個人を特定できるような情報は、むやみに使用しない。

D data **データ**を集めよう！
計画に沿ってデータを集めましょう。集めたデータは、分析しやすいように整理しましょう。

A analysis **分析**しよう！
表やグラフをつくり、データの傾向を読みとりましょう。

C conclusion **結論**を出そう！
読みとったことから考えをまとめましょう。わかったことから、次に解決すべき問題を設定し、次のサイクルを回していきます。

【PPDAC サイクルのまとめ】(p.256)

6

中学校 学びの自己評価



数学の学習全体を通して、どんなことができるようになるといいか、この表で確認しよう。

自分で学ぶ力をチェック！	自己評価
1 問題や課題の設定、条件を正しく読みとることができる。	<input type="checkbox"/>
2 与えられた式・図・表・グラフなどから、数量、図形の関係や性質を読みとることができる。	<input type="checkbox"/>
3 新たな内容を学ぶとき、以前に学んだ内容と関連づけて考えることができる。	<input type="checkbox"/>
4 問題や課題を解決するために、数量、図形の関係や性質を使って筋道立てて考えることができる。	<input type="checkbox"/>
5 1つの方法にこだわらず、いろいろな考え方をすることができる。	<input type="checkbox"/>
6 数量、図形の関係や性質を、式・図・表・グラフなどを用いて表現することができる。	<input type="checkbox"/>
7 問題や課題の解決過程を、数学の表現を用いて的確に表すことができる。	<input type="checkbox"/>
8 数学のことばや式を用いて、見つけたこと、方法、理由などを説明することができる。	<input type="checkbox"/>
9 問題や課題の解決過程や結果をふりかえることができる。	<input type="checkbox"/>
10 学んだことから新たな疑問をもち、次の学びに向かうことができる。	<input type="checkbox"/>

授業では、問題や課題を自分ひとりで解決する場面と、ほかのひとと協力して解決する場面があります。それぞれの学びにおいて大事にしたいことを2つの表に整理しました。

日々の学習で、表に書いてあることを達成できるように、授業に取り組みしましょう。



学び合いの力をチェック！	自己評価
1 ほかの人の発言を、正確に理解しようとしている。	<input type="checkbox"/>
2 ほかの人が書いた意見や解答から、なぜそのような考えや表現になるかを読みとろうとしている。	<input type="checkbox"/>
3 ほかの人の考えの中で、わからないところを質問できる。	<input type="checkbox"/>
4 自分の考えを、数学のことばや式を用いて簡潔に表現することができる。	<input type="checkbox"/>
5 説明することができる。	<input type="checkbox"/>
6 なぜそのような考えなのかを説明することができる。	<input type="checkbox"/>
7 ほかの人の考えを自分の考えと比べて、同じところやちがうところに気づくことができる。	<input type="checkbox"/>
8 ほかの人の考えのよいところを取り入れて、自分の考えを修正できる。	<input type="checkbox"/>
9 いろいろな意見を整理して、結論をまとめることができる。	<input type="checkbox"/>
10 互いに助け合いながら、学びを進めることができる。	<input type="checkbox"/>

【学びの自己評価チェックシート】(後見返し)

3


数学を学ぶことが楽しくなる

数学を活用して身のまわりの問題を解決する課題や、社会とのつながりを想起させる話題を通じて、数学の有用性を感じられるように構成しています。

- ① 新しい内容に入る際、その内容を学ぶ必要性を感じられるように展開しています。
- ② 学んだ内容を活用して解決するタイプの TRY を各所に設け、数学の有用性を感じられるようにしています。
- ③ 「考えよう」「調べよう」など、活動的な話題を各所に設け、興味・関心に応じた取り扱いができるようにしています。
- ④ 数学に関係する職業について紹介するページを設けています。

TRY2 温める時間をちょうどよく設定しよう


上の食品を、700 W の出力の電子レンジで温めるとき、温める時間はどのくらいに設定するのがよいでしょうか。



【反比例の利用】(p.150)

3 考えよう 音の速さ

遠くで花火が上がったとき、花火の音は遅れて聞こえてきます。光よりも音の方が伝わる速さが遅いため、光よりも音の方が遅れて届いているのです。



空気中を伝わる音の速さは気温によって変わり、気温が t °C のときの音の速さは、およそ次の式で表されるといいます。

秒速 $(331 + 0.6t)$ m

たとえば、気温が 30 °C のときの音の速さは、この式の t に 30 を代入して

$$331 + 0.6 \times 30 = 349$$

したがって、秒速 349 m であるとわかります。

気温は英語で temperature なので、その語文字 t をよく使おうよ。

【音の速さ】(p.75)

4 Interview 聞いてみよう!

気象予報士ってどんな職業?

気象予報士 杉山 真穂さん

どのような仕事をしていらっしゃいますか?

気象予報士は、気象庁や民間の気象予報会社で、気象の予測や気象情報の提供を行います。また、気象予報士の仕事は、気象の予測や気象情報の提供だけでなく、気象の予測や気象情報の提供を行うための研究や開発も行っています。

仕事の中で数学を使うのはどんなときですか?

気象予報士の仕事は、気象の予測や気象情報の提供を行うために、気象の予測や気象情報の提供を行うための研究や開発を行います。また、気象予報士の仕事は、気象の予測や気象情報の提供だけでなく、気象の予測や気象情報の提供を行うための研究や開発も行っています。

中学生のみなさんにメッセージ!

気象予報士の仕事は、気象の予測や気象情報の提供を行うために、気象の予測や気象情報の提供を行うための研究や開発を行います。また、気象予報士の仕事は、気象の予測や気象情報の提供だけでなく、気象の予測や気象情報の提供を行うための研究や開発も行っています。

【気象予報士ってどんな職業?】(p.258-259)

2. 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
全体		日本各地の話題・写真を取り上げ、我が国と郷土に対する理解が深まるようにしました。(第5号)	全体
		授業における活動の指針になるようにペア学習、グループ学習を想定した対話を各所に設け、自他の敬愛と協力を重んじる態度が養われるようにしました。(第3号)	全体
1章	正の数と負の数	「エラトステネスのふるい」を話題として取り上げ、数学の歴史及び文化や他国を尊重する態度が養われるようにしました。(第5号)	p.54
2章	文字と式	ごみの減量作戦に関する問題を通して、環境保全に対する意識が高まるようにしました。(第4号)	p.88
3章	1次方程式	具体的な問題の場面で「姉と弟」「兄と妹」のように、男女比率が均等になるようにし、男女の平等を重んじる態度が養われるように配慮しました。(第3号)	p.112, 114
4章	比例と反比例	電子レンジの加熱時間に関する問題を取り上げ、生活との関連を重視する態度が養われるようにしました。(第2号)	p.150
5章	平面図形	問に関連して麻の葉文様を取り上げ、我が国の伝統を尊重しようとする態度が養われるようにしました。(第5号)	p.169
6章	空間図形	身のまわりにあるものの写真から直線や平面を見出す問いを通して、生活との関連を重視する態度が養われるようにしました。(第2号)	p.196, 200
7章	データの活用	気温やアトラクションの待ち時間を分析の対象とすることで、生活との関連を重視する態度が養われるようにしました。(第2号)	p.232-249
数学旅行		気候変動の話題を通して、環境保全に対する意識が高まるようにしました。(第4号)	p.266-267
ぐんぐんのぼそく チャレンジ編		本文の内容を深めるための問題を充実させ、幅広い知識と教養が身につくようにしました。(第1号)	p.269-291

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

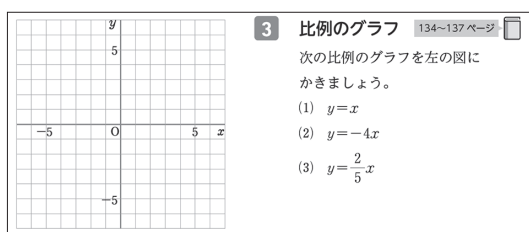
教育基本法や学校教育法に示された義務教育の目的・目標を達成するために、以下のような配慮をしています。

小中の連携

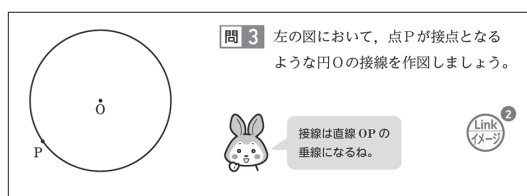
- 中学1年の教科書は、問いかけ文に「～しましょう」という表現を用いて、小学校から中学校への学習の接続が円滑になるようにしています。
- 必要に応じて小学校の学習内容に触れ、内容の系統性を理解できるようにしています。(p.31, 195, 237 など)

ユニバーサルデザイン

- 全体にわたってUDフォントを大きめのサイズで用い、文章は文節で改行して、読みやすくなるようにしています。
- カラーユニバーサルデザインの観点から、色覚の特性によらず識別しやすい配色にしています。また、全体を、特別支援教育の観点から、専門家が検査しています。
- 奇数ページにツメ見出しをつけ、ページの検索性が高まるようにしています。
- 太字、下線、枠囲いなどを使用し、大事なところがわかりやすくなるようにしています。
- グラフや図をかく問題、長さや角度を測る問題などについては、教科書中にかき込みやすくなるように、小口（本の外側）に図を配置しています。



(p.138)



(p.184)

学びのつながり

- 前に学んだ教材を再度取り上げて新しい内容と関連づけたり、視点を変えて捉えたりする機会を設けるようにしています。(p.175, 209, 214 など)
- 中学1年の学習内容を、領域ごとに整理しやすい形でまとめています。(p.292-299) 算数とのつながりも確認できるようにしています。

他教科とのつながり

- アルファベットの習熟に課題がある生徒のために、コンテンツで一覧を参照できるようにしています。また、数学でよく使われるアルファベットについての説明を示しています。(p.66, 72)
- 水圧の話題を取り上げ、理科で学ぶ内容と数学の関連が理解できるようにしています。(p.263)

防災・減災への取り組み、安全教育

- 地震、津波などの災害への備えを取り上げ、防災・安全意識に繋がるようにしています。(p.12, 153 など)

コンテンツ

- 各ページに掲載した二次元コードから、学習に役立つ多数のコンテンツをご利用いただけます。

<https://cds.chart.co.jp/books/sqqkeyecwm>



編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-36	中学校	数学	数学	1
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
104 数研	104-73	これからの 数学1		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 主体的・対話的で深い学びを実現

日々の学びにおいて、生徒たちがつねに思考をめぐらせ、自立的・協働的に学びを進めることができるようにつまみしています。



◆それぞれの学習内容を、活動的に学ぶことができるようにしています。特に章や節の最初は、新たな学習内容の必要性を考えたり、身のまわりにある事象から数学を見いだしたりして、興味・関心をもって学習に入ることができるようにつまみしています。

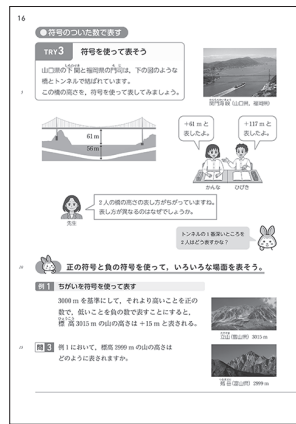
◆QやTRYの活動場面を中心に、生徒キャラクターの対話場面を示すようにしています。課題に取り組む際にどのようなことに着目すればよいのか、一目でわかるようになっています。

◆紙面上に対話場面が示されていることで、生徒の思考活動が促進されます。また、生徒からキーとなる発言が出ない場合でも、指導者が紙面上の考えを取り扱うことで、授業で押さえておきたいポイントを確実に扱うことができます。

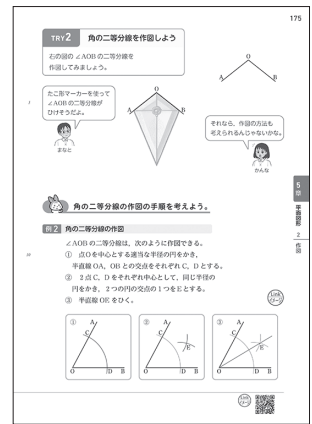
◆活動場面に対話を設けることで、その日の学習内容と活動の過程を振り返りやすくしています。その授業に参加できない生徒にとっても、学習の内容や流れが理解しやすくなります。

◆実際の授業場面と同様に、生徒のやりとりを先生キャラクターがコーチするように対話を構成しています。先生キャラクターの発言をきっかけにして、課題を違う角度から捉え直したり、数学的な表現を整えたり、新たな疑問をもったり、といった形で学習内容の理解を深めていくことができるようになっています。

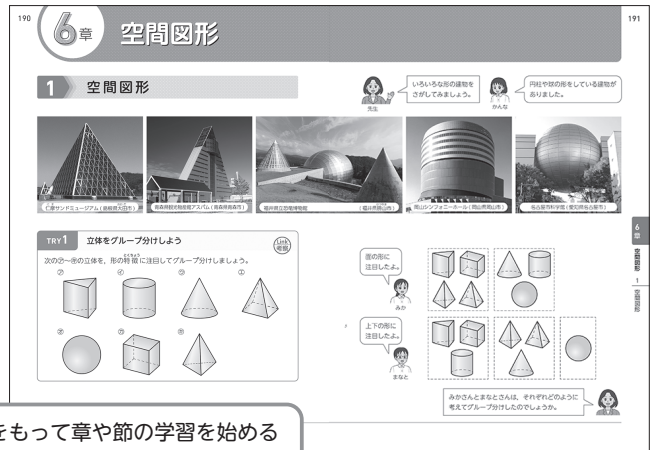
QやTRYを通して予想・考察するところから学習を始めることで、生徒に思考が生まれます。



(p.16)



(p.175)



興味・関心をもって章や節の学習を始めることができるようになっています。

(p.190-191)

2 数学的な見方・考え方が働く

数学の問題解決のみならず、社会に出てからも役に立つ見方・考え方が、無理なく身につけていくようにくふうしています。

- ◆ 数学的な見方・考え方のうち代表的なものを、巻頭にまとめています。
- ◆ さまざまな場面において、数学的な見方・考え方を対話によって視覚化して示すことで、生徒が数学的な見方・考え方を身につけられるように支援しています。



数学的な見方・考え方

数学の活動では、次のように考えることがよくあります。つねに意識して、これからの学習に役立てましょう。

- 具体的なものを例にあげて考える
- 式や表を使って、関係をとらえる
- 全体をいくつかの部分に分けて考える
- 知っている関係や形とみなす
- すでに学んだことを使って考える
- 条件を変えて考える

(p.9)

TRY1 負の数の点のとり方を考えよう

xの変域を負の数までひろげて比例 $y=2x$ のグラフをかくにはどのようにするのがよいか説明しましょう。

x	...	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	...
y	...					0	2	4	6	8	...

xとyの値の組を点を表すにはどうすればいいかな。
 数直線上に負の数を表したときと同じようにのぼすのかな。

(p.131)

Q 下の図のように、直線 l を軸として長方形や直角三角形を1回転させるとどんな立体ができるでしょうか。

長方形 直角三角形

ひびき: 頂点がたくさんある立体になるのかな。

先生: 頂点や辺など、どこか一部分に着目して動きを見てみましょう。

(p.204)

3 個別最適な学びの実現

自分に合った学びが可能となるように教材の配置をくふうしています。また、紙とコンテンツが一体となって、多様な生徒の学びをサポートします。

- ◆ 生徒がひとりで読んでも理解を深めることができるように、本文や例を丁寧に記述するとともに、要所で図解を用いるようにしています。
- ◆ 数学を活用する力を十分に高めることができるように、各所に活用問題を配置しています。
- ◆ 数学が得意な生徒の能力を伸ばし、可能性を広げることができるように、必要に応じて発展的な内容が取り扱えるようにしています。
- ◆ 多様な生徒に合った学びができるように、5種類のコンテンツを配置しています。

「補 充」 教科書の間を補充するコンテンツ。

「イメー ジ」 動画やアニメーションで、教科書の内容をわかりやすく見ることができるコンテンツ。

「資 料」 教科書の内容に関連した情報を表示するコンテンツ。

「考 察」 グラフや図形を自由にかいたり動かしたりすることができるコンテンツ。

「探 究」 章の内容を総合的に活用する課題を表示するコンテンツ。

学んだことを活用しよう

正方形の折り紙を図1のように3回折り、その状態で紙の一部分を切り落とします。

たとえば、図2のように①の線で切ってから折った紙を開いていくと、図3のようになります。

切った紙を開いたときに、右の図のような形をつくるためには、折った状態でもどのように切ればよいですか。下の図にかき入れましょう。

(p.188)

TRY1 反比例のグラフについて説明しよう

反比例 $y=\frac{12}{x}$ のグラフにおいて、xの値が1, 10, 100, 1000, ... のように増加していくと、グラフはどのようになるか説明しましょう。

どこかで、x軸と重なるのかな？

近づいていだけじゃないのかな。

(p.144)

関数用の考察コンテンツでは、表から点をプロットする、比例定数を変えてグラフの変化をみる、といった活動が行えます。

「反比例のグラフの特徴を見いだすための考察コンテンツ」

4 算数・数学のつながりが見える

小中高のつながりを捉えることができるよう配慮して取り扱う内容を選別し、既習の内容から新たな内容にスムーズにつながるように、展開をくふうしています。

- ◆各章の初めに「ふりかえり」として、その章の内容に関係する既習内容をまとめています。また、本文中においても既習内容を確認できるようにしています。
- ◆新たな学習内容と既習内容とのつながり、共通点や違いがわかるように記述しています。
- ◆巻末に、1年の内容を領域別にまとめたページを設けています。算数の内容を合わせて確認できるようになっています。
- ◆必要に応じて高等学校数学の内容を取り扱い、学んでいることがこの先の学びにもつながっていくことを示しています。

ふりかえり

2章 文字と式の学習の前に

1. 単位の換算

1 km = 1000 m 1 kg = 1000 g
 1 m = 100 cm 1 g = 1000 mg
 1 cm = 10 mm
 1 L = 1000 mL

2. 数量の換算

(例1) 1箱(24個)のパンを3日間買ったときの代金は

24個 × 120円 × 3日 = 8640円

(例2) 毎時200gの10%の濃さは

$200 \times \frac{10}{100} = 20$ (g)

(例3) 1000 mの道のりを、5分で歩いたときの速さは

$1000 \div 5 = 200$
 よって 分速 200 m

① 1箱(24個)のパンを3日間買ったときの代金
 ② 毎時200gの10%の濃さは
 ③ 1000 mの道のりを、5分で歩いたときの速さは

(p.61)

算数と1年の学習内容を領域ごとにまとめたページを設けています。

292

中学1年のまとめ

算数と1年の学習内容を領域ごとにまとめたページを設けています。

299

算数と1年の学習内容を領域ごとにまとめたページを設けています。

(p.292-299)

5 学び方が身につく

学習内容を身につけながら、学び方そのものを身につけることができるように、各所に関連するページを設けています。

- ◆**学習の進め方**
グループ学習を行ったり、発表したりする際の注意点をまとめています。
- ◆**ノートのつくり方**
ノートのとり方全般に関する注意点をまとめています。また、書き方の具体的な注意点がある場合は、「Note」として、本文脇に示すようにしています。
- ◆**レポートを書こう**
レポートの書き方についてまとめています。レポートを書くときの注意点だけでなく、テーマの選び方についても触れています。
- ◆**統計的問題解決の流れ**
「データの活用」の章末に、PPDACサイクルについてのページを設けています。合わせて、インターネットを正しく理解して活用するためのインターネットリテラシーについても触れています。

8 **学習の進め方**

学習の進め方

説明を聞くときは

- 必要な内容を聞き取り、説明の要点をメモしよう。
- 分からないことは、すぐに質問しよう。

発表するとき・発表を聞くときは

- 伝えたいポイントを、わかりやすく伝えよう。
- 聞き手が理解できるように説明しよう。
- 聞き手の質問や意見に、積極的に答えよう。

(p.8-10)

10 **ノートのつくり方**

ノートのつくり方

ノートのつくり方

ノートのつくり方

226 **レポートを書こう**

レポートを書こう

レポートの書き方

- 1 テーマを選ぶ
- 2 アイデアを出す
- 3 資料を整理する
- 4 レポートを書く

227 **統計的問題解決の流れ**

統計的問題解決の流れ

統計的問題解決の流れ

(p.226-227)

■ 教科書の特徴

教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法に定められた教育の目標が達成できるよう編集しました。
学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に定められた教科の目標が達成できるように各内容を配列、構成しています。 ・数学の問題発見・解決の過程の各段階を意識して教材を配置しています。
基礎的・基本的な知識及び技能の習得	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決型の展開を軸として構成しています。また、既習の内容との関連を見いだしながら新たな知識・技能の習得にあたることのできるようになっています。 ・学んだ内容を統合的にとらえる場面を設けるようになっています。(p.100-101 など) ・章はじめにふりかえりのページを設け、新たな章の学びがスムーズに進むようになっています。(p.11 など) ・「例」や「問」を細かく配置し、基礎的・基本的な知識・技能が無理なく習得できるようにしています。 ・項目末に必要な応じて「練習問題」を設け、繰り返し練習が必要な問題に取り組みさせることができるようになっています。(p.31, 101 など) ・節末にそれぞれ標準的な問題があり、定着度合いを確認することができます。(p.22 など) ・巻末の「チャレンジ編」にも、標準的な問題を豊富に収録しています。(p.269-291) ・全国学力・学習状況調査で課題とされている内容は丁寧に扱うようになっています。(p.122-124 など) ・誤りやすい考えについても紙面上に提示し、授業で触れやすいようになっています。(p.65, 88 など)
思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的な見方・考え方を働かせられる場面を豊富に設けています。対話における生徒キャラクターの数学的な見方・考え方に繰り返し触れることで、数学的な見方・考え方が自然と身につくようになっています。 ・「方法の説明」や「理由の説明」を各所に設け、伝え合う力が高まるようになっています。(p.56, 68 など) ・章末に「学んだことを活用しよう」のページを設け、学んだ内容の活用力が高まるようになっています。(p.60 など) ・「考えよう」「やってみよう」などの活動を通して、さらに学びを深めることができるようになっています。(p.54, 75 など) ・「レポートを書こう」のページを参考に、自ら発見したテーマで考えをまとめることができるようになっています。(p.226-227)
学びに向かう力・人間性等の涵養	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のめあてを、生徒の学習にとって最適な位置に示しています。 ・問題を発見する場面を豊富に設けています。 ・数学と社会との関わりをさまざまな形で示しています。(p.258-259 など) ・はしがきで、数学を学ぶ上で大切にしたいことを述べています。(前見返し) ・学び方に関するチェックシートを設けています。自立的な学びと協働的な学びそれぞれに対して大切にしたいポイントを確認することができるようになっています。(後見返し)
個別最適な学びへの対応 (ICT の活用)	<ul style="list-style-type: none"> ・「補充」「イメージ」「資料」「考察」「探究」の5種類のコンテンツとリンクし、生徒の特性や習熟度に応じた学びをサポートできるようにしています。 ・二次元コードは該当するページに配置し、コンテンツが使いやすくなるようになっています。
今日的な課題の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・学びとSDGsとのつながりをはしがきに示し、数学を学ぶことが自身の将来に役立つことを意識できるようにしています。また、SDGsに関連する内容にはアイコンを付しています。(前見返し, p.148-149, 266-267)
発達段階への配慮, 中1ギャップへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・1年は、問の文章を「～しましょう」という小学校式に揃え、抵抗感が軽減されるようになっています。 ・はしがきに、算数からの学びのつながりを示しています。(前見返し)
特別支援教育, ユニバーサルデザインへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・補助的な図を多用するなど、認識の特性の違いに配慮しています。 ・全体にわたってユニバーサルデザインフォントを大きめの文字サイズで使用しています。 ・軽い用紙に植物油インクを用いて印刷しています。製本は堅牢性に配慮しています。 ・巻末の付録にはミシン目を入れ、使用しやすくしています。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
1章の学習の前に 1章 正の数と負の数 1 正の数と負の数 2 加法と減法 3 乗法と除法 4 いろいろな計算 問題, 学んだことを活用しよう	A 数と式 (1) A(1) ア (ア) A(1) ア (イ) A(1) イ (ア) A(1) ア (イ) A(1) イ (ア) A(1) ア (ウ) A(1) イ (イ) 内容の取扱い (1)(2)	11 ページ 12 ~ 60 ページ 12 ~ 22 ページ 23 ~ 35 ページ 36 ~ 47 ページ 48 ~ 57 ページ 58 ~ 60 ページ	25
2章の学習の前に 2章 文字と式 1 文字と式 2 文字式の計算 3 文字式の利用 問題, 学んだことを活用しよう	A 数と式 (2) A(2) ア (ア) A(2) ア (イ) A(2) ア (ウ) A(2) イ (ア) A(2) ア (エ) 内容の取扱い (3)	61 ページ 62 ~ 94 ページ 62 ~ 76 ページ 77 ~ 86 ページ 87 ~ 91 ページ 92 ~ 94 ページ	19
3章の学習の前に 3章 1次方程式 1 1次方程式 2 1次方程式の利用 問題, 学んだことを活用しよう	A 数と式 (3) A(3) ア (ア) A(3) ア (イ) A(3) イ (ア) 内容の取扱い (4) A(3) イ (イ)	95 ページ 96 ~ 120 ページ 96 ~ 110 ページ 111 ~ 117 ページ 118 ~ 120 ページ	15
4章の学習の前に 4章 比例と反比例 1 比例 2 反比例 3 比例と反比例の利用 問題, 学んだことを活用しよう	C 関数 (1) C(1) ア (ア) C(1) ア (イ) C(1) ア (ウ) C(1) ア (エ) C(1) イ (ア) C(1) ア (イ) C(1) ア (エ) C(1) イ (ア) C(1) イ (イ)	121 ページ 122 ~ 156 ページ 122 ~ 138 ページ 139 ~ 147 ページ 148 ~ 153 ページ 154 ~ 156 ページ	18
5章の学習の前に 5章 平面図形 1 平面図形 2 作図 3 円 問題, 学んだことを活用しよう	B 図形 (1) B(1) ア (イ) B(1) イ (イ) B(1) ア (ア) B(1) イ (ア) B(1) イ (ウ) B(1) イ (ウ) 内容の取扱い (5)	157 ページ 158 ~ 188 ページ 158 ~ 169 ページ 170 ~ 180 ページ 181 ~ 184 ページ 186 ~ 188 ページ	14
6章の学習の前に 6章 空間図形 1 空間図形 2 立体の体積と表面積 問題, 学んだことを活用しよう	B 図形 (2) B(2) ア (ア) B(2) イ (ア) 内容の取扱い (6) B(2) ア (イ) B(2) イ (ア) B(2) イ (イ) 内容の取扱い (6)	189 ページ 190 ~ 230 ページ 190 ~ 208 ページ 209 ~ 224 ページ 228 ~ 230 ページ	20
7章の学習の前に 7章 データの活用 1 データの整理とその活用 2 確率 問題, 学んだことを活用しよう	D データの活用 (1)(2) D(1) ア (ア) D(1) ア (イ) D(1) イ (ア) D(2) ア (ア) D(2) イ (ア)	231 ページ 232 ~ 256 ページ 232 ~ 249 ページ 250 ~ 253 ページ 254 ~ 255 ページ	12
数学旅行		257 ~ 268 ページ	
ぐんぐんのぼそう チャレンジ編		269 ~ 291 ページ	
		計	123

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
105-36	中学校	数 学	数 学	1
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
104 数研	104-73	これからの 数学 1		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
185	三角形の外心, 内心	1	2 内容 B 図形 (1) イ(ウ) 「基本的な作図や図形の移動を具体的な 場面で活用すること」 3 内容の取扱い (5) 「円の接線はその接点を通る半径に垂直 であること」	1
225	立体の切断	2	2 内容 B 図形 (2) ア(ア) 「空間における直線や平面の位置関係を 知ること」	1
合 計				2

「類型」欄の分類

- ・学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容 …… 1
- ・学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容 …… 2